

2017年10月3日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

仮想プラットフォーム「TechnoCUVIC VP」に専有型ストレージサービスを追加 オンプレミスからの移行やハイブリッドでの利用に対応

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、IaaS型仮想プラットフォーム「TechnoCUVIC Virtual Platform(以下、TechnoCUVIC VP)」に、仮想化技術を用いた専有型ストレージサービスを追加し、本日から提供を開始します。料金は、最小構成6ホスト(物理サーバ)で月額1,182,000円からです。追加したサービスを含め、1年間で50社へのTechnoCUVICシリーズの提供を目指します。

導入・運用コストや人的リソースの削減効果が見込めることから、パブリッククラウドの業務利用が拡大する一方、機密性の高いデータを管理する際、セキュリティやメンテナンスの面からプライベートクラウドのニーズも高まっています。

CTCは、2014年からクラウドサービス上にユーザーが仮想サーバを自由に設計・構築できる専用の仮想化・統合化プラットフォーム「TechnoCUVIC VP」を提供しており、今回、お客様専用のストレージ領域を提供するサービスを追加しました。

専有型ストレージサービスでは、仮想化基盤に必要な共有ストレージの代わりに物理サーバのディスクを利用するVMware vSAN™を利用しておおり、共有ストレージで懸念される他ユーザーからの影響を排除し、セキュリティやメンテナンス等、お客様の個別要件に合わせた設定を可能にします。また、サーバとストレージの両方をお客様専有の環境として用意することにより、共有型クラウドの場合にオンプレミスのシステムとの連携で課題となるソフトウェアバージョンの不一致を解消し、ハイブリッド環境での柔軟な利用を可能にします。

<TechnoCUVIC VP 専有型ストレージサービスの特長>

- ・ストレージを専有することより、メンテナンスの柔軟性を確保
- ・個別のセキュリティ要件に対応
- ・他ユーザーの影響を受けることなく、安定したサービスの利用を実現
- ・仮想化基盤のバージョン指定にも柔軟に対応

CTCは今後も、お客様の様々なニーズに対応したサービスメニューを拡充し、安全で高品質なクラウドサービスを提供していきます。

今回の発表にあたり、ヴィエムウェア社からコメントをいただいております。

ヴィエムウェア株式会社は、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(CTC)による VMware vSAN™を採用した専有型ストレージサービスの開始を歓迎いたします。vSAN の活用により、リスクを最小限に抑えた効率的なデータセンターを実現します。この動きは、日本企業において基幹業務向けシステムのクラウドへの移行を促進させるものと期待しております。ヴィエムウェアは今後も CTC のクラウドサービスの拡充を、弊社の新たなテクノロジーで支え続けます。

ヴィエムウェア株式会社
執行役員 ストラテジックアカウントビジネス本部長 秋山 将人

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部

TEL:03-6203-4100／E-mail:press@ctc-g.co.jp